

7/22・23

# 食べた、見た、参加した2日間

## 第5回のぼりべつ夏祭り ～いぶり食と文化の祭典～

7月22日(土)・23日(日)、川上公園で、『第5回のぼりべつ夏祭り～いぶり食と文化の祭典～』(同実行員会主催)が開催されました。

2日間を通して市内外から多くの人が訪れ、郷土芸能「熊舞」や北海自衛太鼓、特別開催となった鬼火花など、ステージで行われた迫力ある催しに感嘆の声をあげていました。

今回は、登別閻魔やきそばの早食い大会や鬼の金棒投げ大会、カラオケ大会など、参加型のイベントも充実。参加した知人を応援したり、露店で出品された北海道各地のご当地グルメに舌鼓を打つなど、思い思いの2日間を過ごしていました。

また、22日(土)には、同会場で行われていたパトカーやクレーン車、除雪車などに乗車することができ、「はたらく車展」にあわせて、消防団活動への理解を深め、入団促進を図るため、パネルやポスター、消防車などの展示を行い、地域で活動する消防団の役割や重要性を来場者に伝えました。



▲ステージで行われた北海自衛太鼓による演奏



▲消防車や水素で走る燃料電池自動車に大人も興味津々

## 孔子の言葉を 受け止める

### 第2回国際理解講座

7月25日(火)、市民会館で『第2回国際理解講座』(市主催)を開催しました。

同講座では、毎回、海外にゆかりのある方を講師として迎え、それぞれの国の文化などについて講話を行います。

今回は、市職員の孔佩群が講師となり、「論語」について紹介しました。水を入れすぎるとこぼれてしまう『宥座之器』という道具を實際に見せながら、『中庸』という「何事も偏りすぎないことの大切さ」などの解説を受け、受講者は、孔子が残した言葉の強さを感じるとともに、自分自身の行動を見つめ直していました。

7/25



▲登別三曲協会の会員の教えのもと、箏で『さくら』の演奏に挑戦する児童

## 伝統の文化に親しむ

### 邦楽鑑賞会

7月14日(金)、幌別西小学校で『邦楽鑑賞会』(市教育委員会、登別三曲協会、幌別西小学校主催)を開催しました。

この事業は、子どもたちが伝統的な音楽や和楽器に触れる体験を通して、豊かな心を育てることを目的に、平成3年度から市内各小学校で実施しています。

今年度、初回となるこの日は、幌別西小学校の6年生49人が出席。登別三曲協会の会員が演奏する『六段の調』や『春の海』の美しい旋律を聞いたほか、箏と尺八を演奏し、日本古来の文化を楽しみました。

7/14



宥座之器



▲写真を見せながら説明する講師の声に耳を傾ける受講者